

平成22年9月25日(土)

# 日本緑化工学会

## 平成22年 通常総会

岡山大学創立50周年記念館 多目的ホール  
(岡山市北区津島中)

### － 次 第 －

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 案
  - (1) 第一号議案 平成21年度事業報告
  - (2) 第二号議案 平成21年度決算報告
  - (3) 第三号議案 会則の改定
  - (4) 第四号議案 平成22年度事業計画案
  - (5) 第五号議案 平成22年度予算案
5. その他
6. 閉 会

## 第一号議案

日本緑化工学会 平成 21 年度 事業報告

平成 22 年 9 月 25 日

(平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

### 1. 第 41 回日本緑化工学会大会

開催年月日：平成 22 年 9 月 25 日～26 日

開催地：岡山大学創立 50 周年記念館（岡山市北区津島中）

発表題数：79 題（論文 15、技術報告 36、研究交流発表 28）

### 2. 研究会等

#### (1) 乾燥地緑化研究部会 第 16 回シンポジウム

開催年月日：平成 22 年 1 月 13 日

開催地：岡山大学創立 50 周年記念館（岡山市北区）

テーマ：「乾燥地生態系の課題とその緑化技術（Ⅰ）－乾燥地の持続的生態系利用－」

#### (2) 緑・健康研究部会 URBIO においてセッションを企画、発表 /5 題

開催年月日：平成 22 年 5 月 21 日

開催地：愛知県産業労働センター(愛知県名古屋市)

テーマ：「Urban Greening for Human Health」

#### (3) 生物多様性緑化研究部会 第 41 回大会研究集会にて研究集会を企画

開催年月日：平成 22 年 9 月 25 日

開催地：岡山大学創立 50 周年記念館（岡山市北区）

テーマ：「環境生態再生学の可能性」

### 3. シンポジウム

#### (1) 国際会議 「都市における生物多様性とデザイン (URBIO2010)」の共催

開催年月日：平成 22 年 5 月 18 日～22 日

開催地：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）及び名城大学(愛知県名古屋市)

テーマ：「都市における生物多様性とデザイン」

参加者数：480 名 演題：340 題

#### (2) 日本緑化工学会 2010 年シンポジウム

開催年月日：平成 22 年 7 月 31 日

開催地：東京大学弥生講堂・一条ホール(東京都文京区)

テーマ：「『みどりの社会』ことはじめ」

参加者数：60 名

#### (3) ポスト URBIO 連続シンポジウム 第 41 回大会研究集会

開催年月日：平成 22 年 9 月 25 日

開催地：岡山大学創立 50 周年記念館（岡山市北区）

テーマ：「生物多様性の技術と政策」

研究集会 1：「環境生態再生学の可能性」

研究集会 2：「都市における生物多様性指標の開発」

#### 4. 学会誌の発行

- (1) 35 巻 2 号：平成 21 年 11 月 30 日発行 154 ページ
- (2) 35 巻 3 号：平成 22 年 2 月 28 日発行 92 ページ
- (3) 35 巻 4 号：平成 22 年 5 月 31 日発行 78 ページ
- (4) 36 巻 1 号：平成 22 年 8 月 31 日発行 256 ページ

#### 5. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行

- (1) Vol. 6 No. 1：平成 22 年 1 月発行 153 ページ (17 編)
- (2) Vol. 6 No. 2：平成 22 年 7 月発行 190 ページ (17 編)

#### 6. 平成 21 年度日本緑化工学会賞の授与

論文賞 岡 浩平氏 (東京都市大学)：

海浜植生の成帯構造の保全・復元に関する研究

奨励賞 呉 初平氏 (中国浙江省林務廳森林研究所・2011 年春より予定)：

マツ枯れ荒廃林におけるマツ林再生の試みに関する研究

#### 7. CPD

- (1) 緑化・環境 CPD 協議会  
会員数 1,021 名 (うち当学会員 700 名)
- (2) 講習会などの認定と、CPD 参加証明書の発行  
日本緑化工学会 32.5P  
国土環境緑化協会連合会 50P  
NPO 法人日本緑化工協会 9P
- (3) CPD プログラム認定委員会  
プログラム認定を行った

#### 8. その他事業

- (1) 日本緑化工協会主催「緑化工技術講習会」の後援  
開催年月日：平成 22 年 2 月 4 日・5 日  
開催地：国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区)  
備考：講師派遣 4 名

#### 9. 会員数 (平成 22 年 8 月末現在、カッコ内は前年 8 月末、(( ))内は前々年 8 月末)

- (1) 正会員： 709 名 ( 747 名 ) (( 768 名 ))
- (2) 学生会員： 108 名 ( 94 名 ) (( 90 名 ))
- (3) 賛助会員： 74 団体 ( 80 団体 ) (( 84 団体 ))
- (4) 購読会員： 38 団体 ( 39 団体 ) (( 36 団体 ))

# 平成21(2009)年度 収支報告書(仮)(案)

(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

## 日本緑化工学会

	費目	予算額(A)	実際額(B)	差額(B-A)	対予算割合 (B÷A×100)	摘要
収入の部	正会員費	6,104,000	5,355,300	-748,700	87.73	正会員 709名 / 今年度入金 545名 (@8,000)
	賛助会員費	2,870,000	2,415,000	-455,000	84.15	賛助会員 74団体 / 今年度入金 65団体 (@35,000)
	購読会員費	304,000	288,000	-16,000	94.74	購読会員 38団体 / 今年度入金 36団体 (@8,000)
	学生会員費	412,000	288,700	-123,300	70.07	学生会員 108名 / 今年度入金 65名 (@4,000)
	入会登録料	35,000	34,300	-700	98.00	49名 (@700)
	投稿料	380,000	100,000	-280,000	26.32	通常号(論文・短報)、大会号(論文技術報告)
	広告料	1,400,000	1,570,000	170,000	112.14	Vol.35-2～Vol.36-1分
	雑収入	1,200,000	1,081,103	-118,897	90.09	別刷・B販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、利息等
	小計	12,705,000	11,132,403	-1,572,597	87.62	
	繰越金	3,819,015	3,819,015			
合計	16,524,015	14,951,418	-1,572,597	90.48		
支出の部	会議費	50,000	60,955	10,955	121.91	理事会・評議会会議室借上費 他
	旅費交通費	400,000	408,170	8,170	102.04	理事会交通費
	事務人件費	320,000	285,000	-35,000	89.06	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバレンタル料
	通信費	1,000,000	962,722	-37,278	96.27	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	300,000	183,668	-116,332	61.22	総務部会事務用品費、コピーリース料
	学会誌刊行費	7,000,000	6,490,219	-509,781	92.72	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用、英文誌出版補助費
	大会補助費	500,000	500,000	0	100.00	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	300,000	218,550	-81,450	72.85	補助費(赤字補填分)、他学会共催シンポジウム補助費
	研究部会補助費	300,000	0	-300,000	0.00	補助費(赤字補填分)、活性化補助費
	委員会等経費	240,000	413,990	173,990	172.50	編集委員会、大会誌編集委員会、国際誌編集委員会等経費
	事務委託費	2,400,000	1,890,000	-510,000	78.75	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	500,000	500,000	0	100.00	G-CPDサーバレンタル料、管理経費
	諸会費	180,000	140,000	-40,000	77.78	JABEE、JAFEE、森林・木材・環境アカデミー会費
	雑費	30,000	16,314	-13,686	54.38	振込手数料 他
	予備費	3,004,015	0	-3,004,015	0.00	慶弔費 他
合計	16,524,015	12,069,588	-4,454,427	73.04		
次期繰越金			2,881,830			

平成21年度 日本緑化工学会の収支決算内容を上記のとおりご報告申し上げます。

平成 22年 9月 30日

日本緑化工学会経理担当理事 高橋 徳

## 平成21 (2009)年度 貸借対照表

平成22年 9月 30日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	190,090	前受け会費	196,150
預 け 金	5,717,842	未払い費用	4,213,082
未 収 金	1,383,130	次期繰越金	2,881,830
合 計	7,291,062	合 計	7,291,062

### － 財 産 目 録 －

#### 資産の部

科 目	摘 要	金 額
現 金	事務局	190,090
預 け 金	みずほ銀行 本郷支店	5,616,323
	本郷郵便局	67,609
	本部(東京農業大学)	33,910
	小 計	5,717,842
未 収 金	広告費(4件)、BN販売	3,080
	別刷り代(34巻1号)(11件)	93,400
	別刷り代(34巻4号)(2件)	34,200
	別刷り代(35巻1号)(30件)	24,700
	平成21年度 広告費(8件)	730,000
	別刷り代(36巻1号)(41件)	497,750
	小 計	1,383,130
合 計		7,291,062

#### 負債の部

科 目	摘 要	金 額
前受金費用	平成21(2009)年度分 会費	196,150
未払費用	(株)学報社 編集制作費(36巻1号)他	2,298,030
	勝美印刷(株) 封入作業費(36巻1号)他	733,341
	第41回大会運営委員会 運営補助費	500,000
	その他	681,711
	小 計	4,213,082
合 計		4,409,232

### － 会 計 監 査 報 告 －

平成21年度(平成21年10月1日～平成22年9月30日)仮収支決算報告書および財産目録に基づき、帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。

平成22年 月 日

平成21年度 日本緑化工学会

監事 森本 幸裕

同上

監事 谷口 伸二

## 平成22(2010)年度 英文誌収支報告書 (仮) (案)

【貸借対照表】 < 平成 22年 9月 30日現在 > (単位:円)

借方(資産の部)		貸方(負債の部)	
科目	金額	科目	金額
預け金	-182,491	前受金	102,900
出版補助費	300,000	未払費用	356,515
未収金	519,750	次期繰越金	177,844
合計	637,259	合計	637,259

(資産の部)

科目	摘要	金額
預け金	みずほ銀行 本郷支店	-1,404,691
	本郷郵便局	1,222,200
	小計	-182,491
英文誌出版補助費		300,000
未収金	会費 正会員 (40名)	470,400
	学生会員 (7名)	49,350
	小計	519,750
合計		637,259

(負債の部)

科目	摘要	金額
前受金	会費 (14名)	102,900
未払費用	会費立替払い分	356,515
合計		459,415

【収支報告書】 < 平成 21年 10月 1日 ~ 平成 22年 9月 30日 >

	費目	実際額	摘要
収入	正会員費	1,123,550	正会員 98名 (@7,350)
	学生会員費	57,750	学生会員 7名 (@4,200)
	小計	1,181,300	
	繰越金	743,109	
	合計	1,924,409	
支出	諸会費	356,515	購読料(2008年以前)
		425,250	購読料(5巻1号)
		432,600	購読料(5巻2号)
		382,200	購読料(6巻1号)
	150,000	2010年 ICLEE運営負担金	
合計	1,746,565		
次期繰越金		177,844	

### — 会計監査報告 —

平成22年度(平成21年10月1日～平成22年9月30日)仮収支決算報告書および財産目録に基づき、帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。

平成22年 月 日

平成21年度 日本緑化工学会 監事 森本 幸裕

同上 監事 谷口 伸二

第三号議案 会則の改定

日本緑化工学会会則 改訂案 下線部分を改訂

現行	変更案
第1章 総則 (目的) 第2条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 緑化に関する研究、調査ならびに普及 (2) 研究発表会、研究会、技術検討会、講演会、及び見学会等の開催 (3) 「日本緑化工学会誌」の刊行 (4) 図書、資料等の発行 (5) 緑化に関する学術交流 (6) 日本緑化工学会賞の授与 (7) その他本会の目的達成に必要な事業	第1章 総則 (目的) 第2条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 緑化に関する研究、調査ならびに普及 (2) 研究発表会、研究会、技術検討会、講演会、及び見学会等の開催 (3) 「日本緑化工学会誌」(和文誌)の刊行 (4) 「 <u>Landscape and Ecological Engineering</u> 」(欧文誌)の共同刊行 (5) <u>図書、資料等の発行</u> (6) <u>緑化に関する学術交流</u> (7) <u>日本緑化工学会賞の授与</u> (8) <u>その他本会の目的達成に必要な事業</u>
(会費) 第6条 本会の会費は、次のとおりとする。 (1) 正会員 年額 8,000 円 (2) 賛助会員 年額 35,000 円以上 (3) 購読会員 年額 8,000 円 (4) 学生会員 年額 4,000 円 (5) 名誉会員 会費を納めることを要しない	(会費) 第6条 本会の会費は、次のとおりとする。 (1) 正会員 年額 8,000 円 (2) 賛助会員 年額 35,000 円以上 (3) 購読会員 年額 8,000 円 (4) 学生会員 年額 4,000 円 (5) 名誉会員 会費を納めることを要しない <u>2. 欧文誌を講読する場合は、以下の金額を追加する</u> <u>(1) 正会員・賛助会員 年額 7,350 円</u> <u>(2) 学生会員 年額 4,200 円</u>
(会計年度) 第43条 本会の会計年度は、毎年 10 月 1 日に始まり、翌年の 9 月 30 日に終わる。	(会計年度) 第43条 本会の会計年度は、毎年 <u>8 月 1 日</u> に始まり、翌年の <u>7 月 31 日</u> に終わる。
付則 会計年度の変更は平成 15 年度を平成 15 年 4 月 1 日から平成 16 年 9 月 30 日までとすることによって行う。	附則 会計年度の変更は平成 15 年度を平成 15 年 4 月 1 日から平成 16 年 9 月 30 日までとすることによって行う。 <u>附則 会計年度の変更は平成 22 年度を平成 22 年 10 月 1 日から平成 23 年 7 月 31 日までとすることによって行う。</u>

## 第四号議案

### 日本緑化工学会 平成 22 年度 事業計画 (案)

平成 22 年 9 月 25 日  
(平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 7 月 31 日)

1. 第 42 回日本緑化工学会大会 (平成 23 年度の事業として実施)  
開催年月日： 平成 23 年 9 月～10 月の土曜日、日曜日で日程調整中  
開催地： 千葉大学  
※43 回大会(平成 24 年 9 月)は東京農業大学で開催予定 (3 学会合同で実施する予定)
2. 研究会  
下記の各研究部会により 1～3 回開催予定
  - ①斜面緑化
  - ②都市緑化技術
  - ③環境林
  - ④生態系保全 20 年間の部会活動のとりまとめを行う
  - ⑤乾燥地緑化
  - ⑥積雪寒冷地 1 件の懇談会を予定
    - (1) 関係各機関参加の懇談会「自然公園内における法面緑化の考え方と今後の課題」
  - ⑦生態緑化基盤
  - ⑧生物多様性緑化 周辺領域に活動が拡大することをめざし、情報連絡、研究会等を行う
  - ⑨緑・健康 23 年大会にて研究集会を企画予定
3. シンポジウム
  - (1) 日本緑化工学会 2011 年シンポジウム
4. 現地見学会：1 回開催
  - (1) 日本緑化工学会 2011 年見学会
5. 学会誌の発行：3 回発行予定 (36 巻 2 号～36 巻 4 号) ※37 巻 1 号は 23 年度発行
6. 学会賞の授与
  - (1) 平成 22 年度日本緑化工学会賞の授与
7. 英文誌 *Landscape and Ecological Engineering* の発行：2 回発行予定
  - (1) *Landscape and Ecological Engineering*(Vol. 7 No. 1, Vol. 7 No. 2)
8. CPD
  - (1) CPD 行事の認定と CPD ポイントの付加
  - (2) CPD 関連行事の拡大
  - (3) 会員の拡大=他関連学・研究会・協会への参加呼びかけ
9. 年会費の自動引き落としの開始  
年会費の納入方法に、銀行口座からの自動引き落としが選択できる制度を平成 23 年度会費から導入する。新入会員へはできるだけ口座の登録を求めていく予定。



## 平成22(2010)年度 収支予算書(仮)(案)

(平成 22年10月 1日 ~ 平成 23年 7月31日)

### 日本緑化工学会

	費 目	H22年度予算額 (A)	H21年度予算額 (B)	差額 (A-B)	摘 要
収入の部	正会員費	5,672,000	6,104,000	-432,000	会員数709名, @8,000
	賛助会員費	2,590,000	2,870,000	-280,000	会員数74団体, @35,000
	購読会員費	304,000	304,000	0	会員数 38団体, @8,000
	学生会員費	432,000	412,000	20,000	会員数108名, @4,000
	入会登録料	28,000	35,000	-7,000	40名, @700
	投稿料	150,000	380,000	-230,000	
	広告料	800,000	1,400,000	-600,000	Vol.36-2~Vol.36-4分
	雑収入	600,000	1,200,000	-600,000	別刷・BN販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、利息等
	小 計	10,576,000	12,705,000	-2,129,000	
	前年度繰越金	2,881,830	3,819,015	-937,185	
	合 計	13,457,830	16,524,015	-3,066,185	
支出の部	会議費	45,000	50,000	-5,000	理事会・評議員会会議室借上費, 他
	旅費交通費	350,000	400,000	-50,000	理事会交通費
	事務人件費	360,000	320,000	40,000	本部経費,総務部会事務費,HP・ML管理費, サーバーレンタル料,
	通信費	720,000	1,000,000	-280,000	会誌・会費請求書発送費:600,000, その他通信費(宅急便・郵送料など):280,000, 電話・ファックス料120,000
	事務用品費	250,000	300,000	-50,000	総務部会事務用品費:100,000, コピーリース料:200,000
	学会誌刊行費	4,500,000	7,000,000	-2,500,000	Vol.36-2~36-4編集制作費:4,000,000, Vol.35-4~36-2 J-Stage登録手数料:350,000, 英文誌出版補助費:150,000
	大会補助費	0	500,000	-500,000	大会開催補助
	シンポジウム・見学会補助費	300,000	300,000	0	シンポジウム・見学会補助(独立運営不足金充当分)
	研究部会補助費	300,000	300,000	0	研究部会補助金(独立運営不足金充当分)
	委員会等経費	240,000	240,000	0	編集委員会, 大会誌編集委員会, 国際誌編集委員会他
	事務委託費	1,800,000	2,400,000	-600,000	学会事務業務委託費(会員入退会, 会費徴収, 会計業務, 英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	500,000	500,000	0	G-CPDサーバーレンタル料(地盤工学会):250,000, 年会費:250,000
	諸会費	180,000	180,000	0	JABEE:100,000, JAFEE:70,000, 森林・木材・環境アカデミー会費:10,000
	雑費	30,000	30,000	0	振込手数料, 他
	小 計	9,575,000	13,520,000	-3,945,000	
予備費	3,882,830	3,004,015	878,815	慶弔費 他	
合 計	13,457,830	16,524,015	-3,066,185		

平成22年度 日本緑化工学会の収支予算(案)内容を上記のとおりご報告申し上げます。

平成22年9月24日

日本緑化工学会経理担当理事 高橋 徳

## 平成23(2011)年度 英文誌収支予算案 (仮) (案)

(平成 22年10月 1日 ~ 平成 23年 7月31日)

### 日本緑化工学会

	費 目	H22年度予算額	摘 要
収 入	正会員費	720,300	正 会 員 98名 (@7,350)
	学生会員費	29,400	学生会員 7名 (@4,200)
	出版補助費	150,000	日本緑化工学会より
	小 計	899,700	
	繰 越 金	177,844	
	合 計	1,077,544	
支 出	諸会費	749,700	LEE誌購読料(6巻2号、7巻1号)
		150,000	2011年 ICLEE運営負担金
	合 計	899,700	
次期繰越金		177,844	

成21年度 日本緑化工学会の収支予算(案)内容を上記のとおりご報告申し上げます。

平成22年9月24日

日本緑化工学会経理担当理事 高橋 徳